

【記載例】

(様式第2-2号)

(農地法第5条甲号)

農地法第5条の規定による許可申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

東西市農業委員会会長 様

譲受人等 住所 東西市東西町大字××1234
職業 建設業 氏名 東西建設株式会社 (印)
(名称) 代表取締役 東西 一郎

譲渡人等 住所 東西市東西町大字▲▲987
職業 会社員 氏名 ○ ○ ○ ○ (印)
(名称)

次によって農地(採草放牧地)の(に)「賃借権」を「設定」したので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

1 許可を受けようとする土地の状況等

東西市東西町

土地の所在	地番	地目		面積(m ²)	利用状況	10aあたり 普通収穫高(kg)	所有権以外の使用収益権 が設定されている場合		市街化区域・市街化調整区域・その他区域の別
		登記簿	現況				権利の種類	権利者の氏名 又は名称	
〇〇字〇〇	1211	畑	畑	500	休耕中	—		北東二郎	
〇〇字〇〇	1212	田	田	1,000	〃	—		北東二郎	〃
以下	余白								
計		1,500m ² (田 1筆		1,000m ² , 畑	1筆	500m ²)			

2 転用目的等

用途	資材置場及び休憩所				
工事計画	着工	令和2年 9月10日 完成		令和3年 8月30日	
	名称	棟数等	建築面積等(m ²)	所要面積(m ²)	備考
土地造成				2,100	併用地 雑種地 600m ²
建築物, 工作物その他					

【記 載 例】

(農地法第5条乙号)

3 転用の事由等

転用を必要とする理由	現在、東西市大字××に資材置場として(2, 100㎡)を賃借して、コンクリート資材、まさ土、砂、バックホー3台、2トントラック2台などを置いているが、今年の9月末で賃貸借契約が終了するので、新たな資材置場を必要としている。 申請地には、現在の置場の資材を移転させる。		
事業又は施設の操業又は利用期間	令和2年 9月10日から10年間		

4 権利を設定・移転しようとする契約の内容(権利の内容欄は、該当箇所に○をすること。)

申請に係る権利の内容	所有権移転	<input checked="" type="radio"/> 賃借権設定	<input type="radio"/> 使用貸借による権利の設定	<input type="radio"/> その他
権利の設定又は移転の時期	〇〇年〇〇月〇〇日	権利の存続期間	10年間	
売買価格又は賃借料	50万円/年間			

5 事業の資金計画

(単位:円)

必要経費	資金調達計画		
土地買収・借上費	500,000	自己資金	2,500,000
土地造成費	2,000,000	借入資金	
建築費		その他	
その他			
計	2,500,000	計	2,500,000

6 転用することによって生ずる付近の農地、採草放牧地、作物等に対する被害の防除施設の概要別紙計画書のとおり

7 その他参考となるべき事項

(1) 関連法令の許認可手続きの状況(必要な箇所に○をすること。)

農業振興地域の整備に関する法律	<input checked="" type="radio"/> 手続中	<input type="radio"/> 手続不要
都市計画法	<input type="radio"/> 申請中	<input type="radio"/> 未申請 <input checked="" type="radio"/> 申請不要
宅地造成等規制法	<input type="radio"/> 申請中	<input type="radio"/> 未申請 <input checked="" type="radio"/> 申請不要
その他(法律名を記入)	<input type="radio"/> 申請中	<input type="radio"/> 未申請 <input checked="" type="radio"/> 申請不要

(2) その他(法令(条例を含む。)で義務付けられている行政庁との事前協議が必要であれば、その状況)

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住所	〒☆☆-☆☆☆ 東西市東西町大字☆☆1000	氏名	南 東 三 郎
電話番号	(▲▲▲) ▲▲▲-▲▲▲▲	自宅	<input checked="" type="radio"/> 勤務先 <small>(名称)</small> 東西建設株式会社 総務課

(注)1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合、「氏名」に担当者名を、「名称」に法人の名称を記載すること。